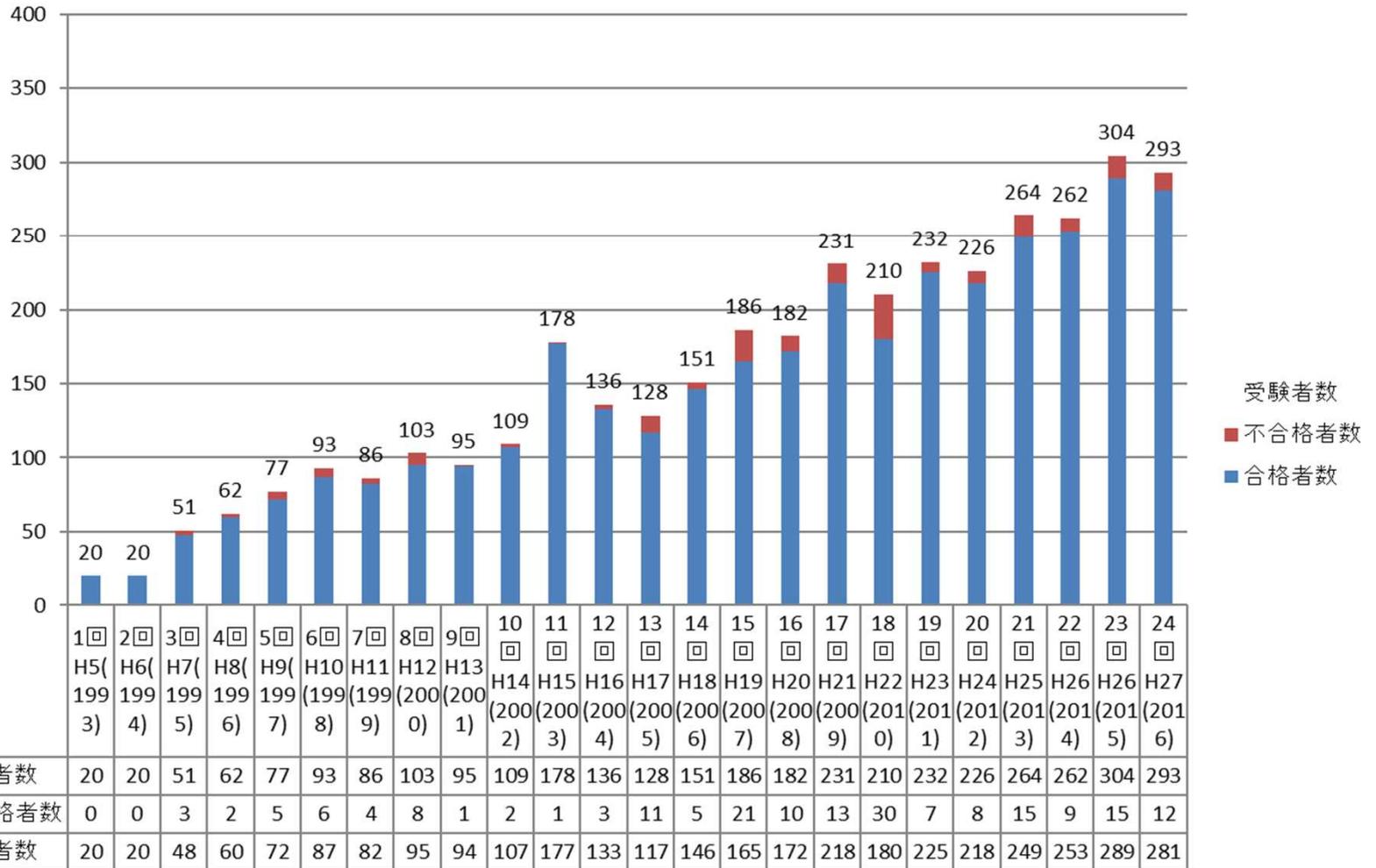


人材育成

腎臓専門医受験者数推移



日本腎臓学会の会員数増加と同期して専門医受験・取得者数は持続的に増加

都道府県別腎臓専門医数の推移

都道府県	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
北海道	29	28	28	28	28	27	25	27	28	27	29	29	29	30	34	36	38	41	
青森	15	15	14	14	14	15	12	12	12	12	12	10	11	11	13	15	15	16	
岩手	9	9	9	9	9	9	6	6	6	6	6	6	7	7	7	8	9	9	
宮城	13	13	13	13	14	16	17	18	19	19	17	17	16	16	16	16	21	21	
秋田	17	12	12	13	12	12	13	13	13	13	12	12	13	13	12	12	10	11	
山形	6	6	5	7	8	10	11	9	9	9	9	8	9	9	10	10	10	11	
福島	22	16	15	15	15	15	14	14	14	15	15	13	14	14	15	20	19	17	
茨城	28	24	25	27	30	28	28	32	33	34	35	34	36	35	36	36	40	42	
栃木	30	28	28	28	27	29	26	28	28	25	24	24	24	26	27	27	29	30	
群馬	16	14	14	16	16	17	14	15	18	20	20	21	26	27	28	31	33	32	
埼玉	46	44	43	40	45	43	40	43	43	47	47	44	50	54	62	66	69	73	
千葉	37	33	33	35	37	38	33	36	36	38	38	39	39	40	41	42	44	47	
東京	250	220	228	233	239	239	222	217	224	223	227	222	236	246	266	273	270	292	
神奈川	98	90	91	90	89	90	90	93	96	101	101	97	101	106	106	110	116	120	
山梨	13	10	9	8	8	9	6	8	8	11	11	11	11	11	12	13	14	15	
長野	13	10	12	13	14	12	11	12	13	13	14	15	15	15	17	19	21	23	
新潟	39	34	34	35	37	38	39	41	40	40	38	39	43	44	44	46	45	44	
富山	15	16	16	16	16	18	18	18	17	18	19	16	17	18	19	17	18	17	
石川	24	18	20	20	20	21	20	18	22	21	22	18	18	19	25	26	23	27	
福井	11	11	11	12	13	14	12	12	12	11	11	10	11	11	12	13	13	15	
岐阜	12	10	9	9	9	8	8	8	9	10	10	8	8	8	10	10	10	12	
静岡	38	41	40	37	35	35	36	37	36	37	36	33	36	36	39	40	42	44	
愛知	62	60	64	64	64	63	59	62	64	69	70	75	72	80	83	89	93	100	
三重	13	11	12	12	10	10	8	8	8	8	9	9	10	10	10	10	9	10	
滋賀	5	4	3	3	2	2	3	5	5	5	5	7	9	10	13	13	13	12	
京都	22	16	17	18	17	19	21	20	25	29	33	35	36	38	41	40	41	45	
大阪	122	116	117	116	116	124	114	114	116	119	116	112	118	123	132	128	128	140	
兵庫	50	47	49	49	47	43	43	40	44	46	43	46	46	51	54	59	60	62	
奈良	28	27	27	25	24	23	20	19	18	19	17	16	15	14	18	18	16	18	
和歌山	23	21	21	20	18	17	14	14	13	14	13	14	15	14	14	13	12	12	
鳥取	5	4	4	4	4	4	2	4	5	5	5	5	4	4	5	6	6	6	
島根	4	3	3	3	1	1	1	2	1	2	2	2	2	2	2	3	3	3	
岡山	23	23	23	22	22	24	23	24	25	25	28	31	33	38	37	38	39	42	
広島	20	20	20	17	17	18	16	18	20	22	23	26	30	30	37	37	40	40	
山口	8	7	7	7	6	6	6	6	6	6	6	5	7	6	8	10	8	8	
徳島	9	8	8	8	8	8	7	6	7	7	7	7	9	10	10	10	10	11	
香川	13	11	12	12	13	12	11	11	12	15	14	12	11	11	12	14	14	15	
愛媛	12	11	12	13	14	13	13	13	11	12	11	11	11	12	13	12	11	12	
高知	2	2	2	3	1	1	1	3	4	5	6	6	7	8	8	8	8	8	
福岡	53	52	52	52	50	52	47	46	48	47	44	41	50	53	60	67	66	66	
佐賀	7	5	6	5	5	4	4	4	5	7	6	4	4	4	4	5	6	6	
長崎	16	15	15	16	16	18	17	17	16	15	15	14	14	15	17	17	15	17	
熊本	18	18	19	18	17	18	17	18	19	19	18	18	19	18	19	20	21	24	
大分	3	3	2	2	2	2	3	4	5	4	6	8	8	8	8	8	7	10	
宮崎	11	9	8	9	9	8	9	10	9	8	9	7	7	7	8	7	7	8	
鹿児島	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	7	8	8	7	10	10	10	12	
沖縄	13	12	12	12	12	12	14	14	13	12	12	14	14	14	14	15	13	14	
合計	1331	1215	1232	1236	1238	1253	1182	1207	1243	1278	1278	1259	1329	1383	1488	1543	1565	1660	

地域別の専門医数の年次変化（2000～2017年）

ほとんどの地域で増加傾向であるが、横ばい（黄色：青森、岩手、栃木、岐阜、鳥取、島根、山口、愛媛）、減少（赤：秋田、福島、三重、奈良、和歌山）の地域もある。

患者を紹介する腎専門医の存在、 腎専門医との個人的関係における地域差

地域(n)	腎専門医の有無*			腎専門医との関係*		
	いない	1人いる	複数いる	直接は知らない	顔は知っている	頻繁に会い親しい
全国(2287#)	5.4	28.3	62.2	23.0	37.3	36.6
北海道(66)	6.1	42.4	47.0	34.8	27.3	36.4
東北(178)	9.6	30.3	55.6	20.8	38.8	37.6
関東(581)	5.2	26.5	63.0	28.2	35.8	32.2
甲信越(61)	6.6	21.3	72.1	14.8	37.7	45.9
北陸(169)	1.8	23.7	69.2	9.5	33.1	53.3
中部東海(219)	3.7	31.5	61.2	22.8	36.1	37.9
近畿(426)	7.0	31.0	59.4	26.5	37.1	32.6
中国(159)	4.4	30.8	59.7	17.0	34.6	46.5
四国(75)	12.0	20.0	64.0	28.0	48.0	22.7
九州(310)	2.3	27.7	66.1	18.7	44.5	34.5
沖縄(17)	5.9	11.8	82.4	5.9	41.2	52.9

#無回答を含む。数字は%を示す。*地域差あり。

各地域の回答の差はPearsonの χ^2 検定で $p < 0.05$ を有意差ありと判定した

対象:日本臨床内科医会会員をはじめとする全国のかかりつけ内科医。

方法:2012年12月~2013年3月の期間にCKD診療と地域連携に関するアンケート調査(36項目)を実施し、これらの現状と地域差について検討した。

北海道、東北や四国では、腎臓専門医の不在・不足エリアが広い

かかりつけ医の専門分野間の比較： 腎専門医への要望

専門分野	n	治療法の 適否確認	自覚症状 の改善	血清Crや K値の改善	腎生検や 画像診断	医師による 患者指導	食事指導	服薬指導	透析や腎移 植の説明
一般内科	2013	70.1	20.2	31.9	53.4	40.8	44.7	19.9	56.0
腎臓科	276	29.0 *	9.4 §	14.1 †	57.6 ¶	18.1 #	29.0 ^b	10.5 ^δ	34.4 ^Σ
循環器科	526	64.4	16.2 §	29.5	53.8	38.6	45.2	18.3	61.4 ^Σ
糖尿病・内分泌科	286	61.9 *	16.8	30.4	53.1	33.2 #	41.6	17.5	60.5
消化器科	557	72.5 *	21.0	36.6 †	47.4 ¶	46.3 #	49.0 ^b	26.6 ^δ	58.3
呼吸器科	201	72.1	19.4	33.3	55.2	44.8	43.8	27.4 ^δ	57.7
神経内科	52	75.0	19.2	38.5	44.2	42.3	38.5	23.1	53.8
脳・神経科	22	77.3	40.9 §	36.4	31.8	31.8	27.3	22.7	50.0
血液内科	24	75.0	16.7	29.2	54.2	37.5	37.5	20.8	66.7
膠原病・リウマチ科	55	56.4	14.5	23.6	43.6	29.1	32.7	14.5	52.7
アレルギー科	77	67.5	16.9	28.6	48.1	40.3	45.5	27.3	59.7

数字は%を示す。* § † ¶ # ^b ^δ ^Σ : 他の専門分野との間に有意差あり。
各地域の回答の差はPearsonの χ^2 検定で $p < 0.05$ を有意差ありと判定した。

対象：日本臨床内科医会会員をはじめとする全国のかかりつけ内科医。
方法：2012年12月～2013年3月の期間にCKD診療と地域連携に関するアンケート調査（32項目）を行い、医師の専門分野ならびに腎臓内科研修歴がCKD診療、地域連携に与える影響について比較検討した。

治療法の選択、腎生検や腎代替療法の説明などの専門性の高い依頼に加え、
生活指導や食事指導など療養指導士にも対応できる要望も多い

「腎臓病療養指導士」の基本的考え方

医療施設および地域におけるCKD療養指導の担い手

- 対象は、看護師、管理栄養士、薬剤師の3職種
- CKDの療養指導に関する職種横断的な基本知識および「療養指導」の実地経験を問うものとする
 - 他の領域の高度専門知識は必ずしも必要としない。
 - 「CKD診療ガイド」「医師・コメディカルのための慢性腎臓病生活・食事指導 マニュアル」を習得しているレベルが目安
- チーム医療と医療連携により、それぞれの医療環境において質の高いCKD療養指導を提供する
- 療養指導の対象は保存期CKD患者に限定

腎臓病療養指導士認定のための第1～3回講習会

場 所：東京医科歯科大学 鈴木章夫記念講堂

第1回講習会3月19日

第2回講習会5月7日

第3回講習会8月20日

一般社団法人 日本腎臓学会

看護師・管理栄養士・薬剤師 対象

腎臓病療養指導士 認定のための講習会

日本腎臓学会主導のもと、幅広くCKD患者の療養指導を担う「腎臓病療養指導士」創設の準備が進んでおります。認定に向けた第1回講習会を開催いたします。



2017年
3.19日
10:00～16:00
東京医科歯科大学
M&Dタワー
鈴木章夫記念講堂

参加費 10,000円(テキスト代込)

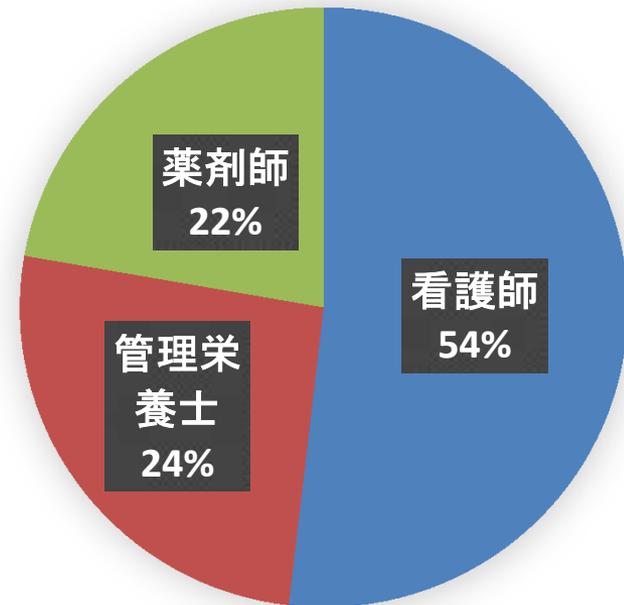
定員 300名

一般社団法人 日本腎臓学会・腎臓病療養指導士創設に関する合同委員会
一般社団法人 日本腎不全看護学会 公益社団法人 日本栄養士会
一般社団法人 日本腎臓病薬物療法学会

事前参加登録は、右記ホームページにて1月16日より開始 <http://www.mtoyoy.jp/jinryouyou/>

腎臓病療養指導士認定要件等の詳細は、ホームページをご覧ください

3回の講習会の合計受講者数：
計1,203名



職種の内訳

「人材育成」 現状のまとめ

- ① 腎臓専門医以外の多くのかかりつけ医がCKD診療を担っている。
- ② 腎臓専門医の数は増加傾向であるが、偏在があり、特に地方では、かかりつけ医と腎臓専門医との連携が困難な地域がある。
- ③ 平成30年度から日本腎臓学会により、腎臓病療養指導士が創設される。

「人材育成」の課題

- ① 腎臓専門医の不足と偏在・地域格差。
- ② 腎臓専門医以外の専門医やかかりつけ医と、腎臓専門医との連携。
- ③ 管理栄養士などメディカルスタッフとの連携。